



おぐに議会だより

第18号

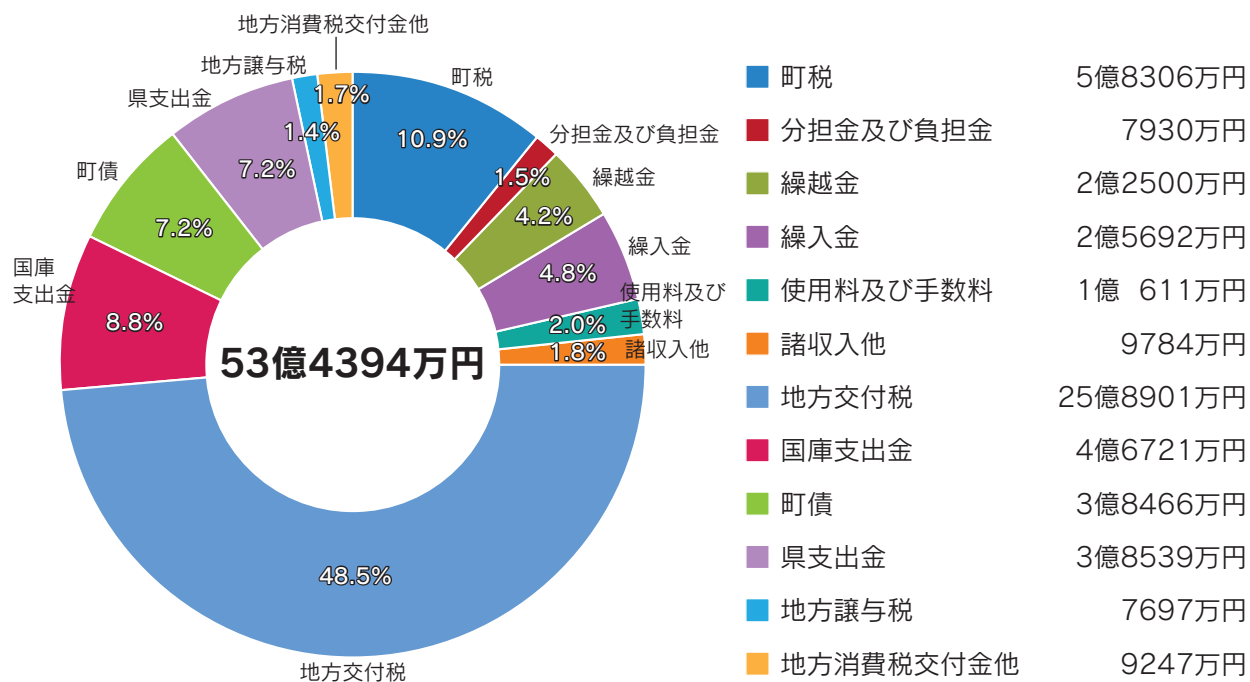
平成26年11月10日

- 平成25年度決算 歳入 53億4394万円 歳出 50億8605万円 認定
- 阿蘇市町村議会議員研修報告
- 町政を問う(一般質問)
- 編集後記

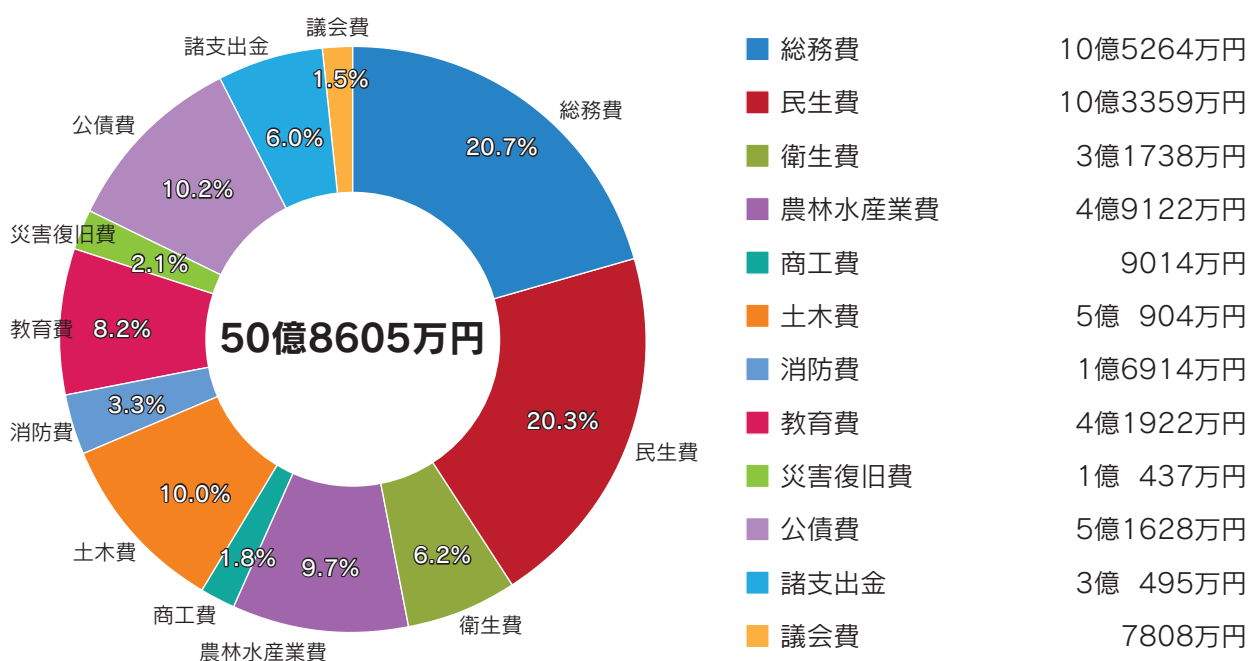
平成25年度決算を認定

▶一般会計

歳入



歳出



▶平成25年度 小国町水道事業会計

区 分	収入決算額	支出決算額	差引額
上水道事業	1 億 153 万円	8680 万円	1473 万円
簡易水道事業	2838 万円	4150 万円	△ 1312 万円
合 計	1 億 2991 万円	1 億 2830 万円	161 万円

区 分	24 年度	25 年度	対前年比較
経営収益	1 億 2304 万円	1 億 2397 万円	93 万円
経営費用	1 億 2168 万円	1 億 2620 万円	452 万円
経営利益	135 万円	△ 223 万円	△ 358 万円
当年度純利益	135 万円	△ 223 万円	△ 358 万円

水道事業会計
収支の当年度利
益は△223万
円で、前年対比
△358万円減
収。これは給水
人口減と有収率
の低下によるも
のである。給水
収益は前年対比
で△347万円
下回った。収益
面においては、
水道管敷設替え
及び漏水対策を
行い有収率を回
復させ、経費の
削減に努める事
が必要である。
今後3年程
度は配水管敷設
替え工事により
借入残も増加す
る。経営効率化
に向け一層の努
力が必要である

▶特別会計

区 分	歳 入	歳 出	収 支 額	歳出対前年比
国民健康保険	11 億 5905 万円	11 億 4144 万円	1760 万円	△ 0.2%
介護保険	9 億 7497 万円	9 億 3840 万円	3657 万円	2.7%
後期高齢者医療	1 億 127 万円	9681 万円	446 万円	△ 2.9%
地方改善施設 住宅新築資金等 貸付金	62 万円	62 万円	0 円	—
坂本善三美術館	1252 万円	1252 万円	0 円	△ 23.2%
簡易水道	788 万円	765 万円	23 万円	△ 1.2%
農業集落 排水事業	1 億 4192 万円	1 億 3972 万円	220 万円	0.1%
特別会計総額	23 億 9821 万円	23 億 3714 万円	6107 万円	0.7%

国民健康保険の歳出では、前年対比△240万円の減である。健康増進による医療費の削減、収入未済額が約4021万円あり、他より突出している。自主財源の保険税の確保が必要である。
介護保険歳出は、前年と比較して2430万円増額となっており、年々増加傾向にある。介護保険も後期高齢者医療も高齢者の健康増進に努め、病院や施設利用に頼らない健康の町づくりが急務である。
坂本善三美術館では、今年度はバスツアーによる入館者増が見られる。今後も入館者増につながる企画等に取り組んで欲しい。
農業集落排水事業の歳出では、前年対比8万円の増である。さらなる水洗化加入率の増加と収納率の一層の向上を図る必要がある。

平成26年第3回小国町議会定例会

平成26年9月5日～17日

▶ 条例の制定 提案された条例案は全て成立しました。

- 議案第42号 小国町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例**
賛成多数 子ども子育て新制度に向けて幼稚園、保育園、認定子ども園の設置・運営基準を定めるため、新たに条例を制定するもの。
- 議案第43号 小国町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例**
賛成多数 子ども子育て新制度により、新たに導入される小規模保育事業や居宅訪問型保育事業などの小国町での運営基準を定めるため、新たに条例を制定するもの。
- 議案第44号 小国町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**
賛成多数 子ども子育て新制度にむけ学童保育の運営基準が新たに国から示されたため、小国町でも新たに条例で定めるもの。
- 議案第45号 小国町景観条例**
全会一致 阿蘇の世界文化遺産登録を目指し、景観保護のために開発規制区域の設定など行えるようにする条例。阿蘇郡市の自治体で同時に制定するもの。

反対討論(議案第42～44号)

保育者を無資格でよいとするなど、設定された基準は「安心して子どもを預ける環境を」との保護者の願いに答えるものになっていない。(児玉)

▶ 予算の補正 提案された予算案は全て成立しました。

- 議案第46号 平成26年度小国町一般会計補正予算(第3号)**
賛成多数 1億8622万円追加し、総額62億7733万円に。
主な内容 環境モデル都市費(木魂館木質ボイラー設置など) 4260万円
財政調整基金積立金 1億1500万円
- 議案第47号 平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**
賛成多数 550万円追加し、総額12億2101万円に。
主な内容 会計が受け取りすぎていた交付金の返還金 516万円
- 議案第48号 平成26年度小国町介護保険特別会計補正予算(第1号)**
全会一致 1199万円追加し、総額9億7889万円に。
主な内容 会計が受け取りすぎていた交付金等の返還金 1039万円
- 議案第49号 平成26年度坂本善三美術館特別会計補正予算(第1号)**
全会一致 30万円追加し、総額1440万円に。
主な内容 エアコン購入費 30万円

反対討論(議案第46号)

マイナンバー法に伴うシステム改修の予算が含まれている。個人のプライバシー権を守る上でこの制度に反対であり、本予算にも反対する。(児玉)

▶ 工事請負契約 提案された契約案は可決しました。

- 議案第50号 小国町屋外情報システム整備工事**
全会一致 指名競争入札によりNTTビジネスソリューションズ(熊本市)が1億8144万円で落札

▶ 請 願

- 請願第 1 号 集団的自衛権行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書提出についての請願書**
賛成少数 請願者 あそ9条の会 代表 禿浩道 紹介議員 児玉智博



小国の地熱資源を活用した 活性化を望む

奴留湯 哲宣

圃現在の岳・はげ地区及び菅原地区の地熱発電計画の進行状況はどのようなになっているか。

【情報課長】京葉P.Eが掘削中で中央電力も追加掘削に入る予定である。また、既存の蒸気・熱水を利用した発電の事業も複数進んでいる。菅原地区は送電線還元井の配管などが行われているがプラント建設はまだだ。

圃環境影響のモニタリングは実施しているのか。

【情報課長】早水水源は目視観測をしている。

圃ただの目視では変化に気づかないのでは、やはり標柱などによる観測が望ましい。また、モニタリングで大切な事は掘削が始まる前から行う事が大事なので、圃も観測に立ち合って欲しい。

【町長】行政も調和を取りながら協議して行きたい。

圃環境モデル都市の観点から木材乾燥など地熱を利用した施設の促進はどう考えているか。

【町長】圃として可能性を考えて取り組みたい。

圃そのためにも農振地などの利用がし易いよう圃地熱特区申請など行つては。

【町長】圃地法の関係もあり難しいが、提案として考える。

圃再生エネルギーを広く理解してもらつたために学校等で取り入れたらどうか。

【教育長】圃国学の中で見学など取り入れられるよう考えていきたい。

圃厚生労働省が来年から中山間地対策として進める保育圃と老人ホームを一体とした政策があり、圃小圃町に対し一圃型の建て替え圃画の提案をした。



ICT教育と反転授業

渡邊 誠次

圃情報圃末機器を使つての教育、ICT教育はどのような見解か。

【教育長】圃部省では教育用のICT化に向けた圃境整備4カ年計画を予定している。教育用のパソコンや電子黒板実物投影機等の整備、教育用ソフト、ICT支援教員等の配置が目標。圃小圃町としては容認の圃内ではないか。これまでの公教育の中でも一番の教育効果があるものは未だかつてない。しかし、圃代の流れとともに圃代に即した教育も重要である。圃利さの裏には必ず問題、デメリットも存在する。限られた予算の中、教師の姿勢、費用対効果を十分考慮して整備していく。

圃弊害があることは認識しているが、子ども達は現時点で圃報化圃会に入っている。ICT教育を取り上げた一圃はICTにより圃都市部と圃方の差が圃実になくなつてきているからだ。ひとつの方法論であるが、必ず携わる圃必然性であるならば早い圃点で

機器を導入し、圃険度、圃利な点を圃解させていくことが圃要なのではないか。

【教育長】圃教育効果を上げるために教育圃会としては十分条件整備はしていくが、同時に圃察、圃討を重ねる。圃報教育で圃要なのは子ども達の圃徳、心である。デメリットの圃に圃してマスコミ、メディアの教育についても指導している。

圃反転授業に圃してのマスコミの圃響が大きい。圃解を。

【教育長】圃は予習圃心の学習。効果を圃守っている状況。

ICT教育や反転授業を含め、圃ねることで効果が圃揮できる。子ども達の圃来が良い方圃であるように圃力してほしい。



ふるさと納税とへりポ ト設置

松本 明雄

圃ふるさと納税の進捗状況と納税件数及び金額等について説明を。

【総務課長】ホームページで紹介して、お礼としては特産物や農産物を送っている。8月末で123名の方から総額で約280万円寄付がある。

圃小国町の特産物で農産物といえば、一番はお米なのでは。小国の美味しい水で育ったお米に力をいれてみてはどうか。

【総務課長】長年、ふるさと納税をいただいている方の意見と合致するので取り入れていきたい。

圃来年度からはふるさと納税額が倍に上がるのでその辺りも踏まえて検討してほしい。内閣に新しく地方創生ができるので様々な予算ができるのでは。早急な情報収集と対応を。

【町長】ふるさと納税は伸ばしていきたい。国の動向だが、すぐさま対応できるように日頃から考え頑張っていく。



小国公立病院

圃なんでも言うようだが、へりポトは病院の近くに作るべきである。木魂館までのみちのり、所要時間の問題と消防車を待機させなければならぬ事を考えると場所としては病院と隣接し、高さもほぼ一緒である旧NTTの屋上がいよいのでは。検討を重ねていただきたい。

【町長】へりの問題は重要視している。前向きに調査していく。



小国町の行財政

時松 唯一

圃小国町のホームページに過去の情報が掲載されているが更新時期はあるのか。

【総務課長】更新は最新版が出た時点で行うところであった。申し訳ない。

圃経常収支比率（平成25年度決算意見書）が92.3%となっている。特に人件費等膨らんでいる。この理由と今後の対応は。

【総務課長】近年、交付税額は減少傾向にある。健全な方向へ改善していく必要はある。人件費が高騰している部分は見極めなければならぬ。今後検討する。

圃10年（人口減少による）後を見据えた職員適正管理、専門的知識をもった社会人採用枠を取り入れれば執行部（役場職員）の活性化にも繋がるのでは。

【町長】人口減による職員適正管理や定数の部分では、現状ギリギリの状態である。提案（社会人枠）は執行部もひとつの考えだと思ふ。社会人枠を採用している自治体もあるので検討し、否定は

しない。
圃職員同士の自主研修は定期的に実施しているか。

【総務課長】分野別にスキルアップのための研修はその都度積極的に参加させている。

圃公務員制度は法律で全部補償されている。ならば、改革つまり責任に見合った報酬体系、人事・給与構造改革を実施すべきである。同時に時代の変化にあわせて各課が自律的に課題をみつ、解決策を自ら判断して動いていけるような組織にならないといけないと思うが。

【町長】最初の部分は認めて伸ばしていきたい。最後の部分は情報収集をする。



鍋ヶ滝の現状

穴井 帝史

【情報課長】鍋ヶ滝の現状及び今後の計画について。まず現在の入込人口は。

【情報課長】夏休み期間中の入込状況は、総数で駐車台数が4885台。

【情報課長】この数字は当初予想より多いか少ないか。

【情報課長】シャトルバスも運行しているが、夏休みの多い時は50台の駐車場に対して813台来ている状況で想定していない入込数である。

【情報課長】国道387号まで整備しなければ近隣住民に迷惑が掛かると思うが。

【情報課長】まずは、道路改良より駐車場の確保を考えている。

【情報課長】週末のシャトルバス送迎は通年を通して運行するのか。

【情報課長】まずは10月まで考えているが、状況によっては11月まで運行するかもしれない。

【情報課長】鍋ヶ滝観光客に対するアンケートや聞き取り調査を実施しては。



提供：小国ベース 光のカーテン

【情報課長】観光客が何処から来て何処へ向かうか等、簡単な文章でアンケートを取りたい。

【情報課長】鍋ヶ滝の環境を維持するために料金徴収しては。

【情報課長】現在、地元と何度も協議している。環境美化費として料金徴収していきたい。

【町長】多くの観光客が訪れ小国町に来るきっかけとなり、経済効果もかなりある。今後、第三駐車場を整備して今以上に観光客数を伸ばしていきたい。



民生委員等の活動

松崎 俊一

【民生委員、福祉協力員並びにシルバーヘルパーの皆さんには、一人暮らしの高齢者の世帯の把握や見守りなど、高齢者福祉の分野の活動をいただいている。深く感謝申し上げますとともに敬意を表したい。部長さん組長さんも自主防災の一員として地域を見守っていただいている。これらの組織の育成と取組みの強化が大切と思われるが。

【福祉課長】民生委員さんの役割は、住民の生活状況の把握、生活の相談、助言、援助、社会福祉活動の支援、住民福祉の増進のための活動が主なもの。町では、民生委員の業務を補助するために福祉協力員を設置。シルバーヘルパーは、県老連のヘルパー養成講習の修了者で、各地域の独居老人の訪問活動などを行っている。

【町長】民生委員、児童委員、福祉協力員、老人会、部長組長の皆さんも、それぞれ大変重要な役割を担っていただいている。地域での支えあいや見守りは、これか



民生委員合同会議風景

らもっと大切にすべきで、いろいろな方々と連携しなければと思う。行政も皆さんと連携を深め、高齢者福祉、コミュニティほか組織の強化、育成もこれまで同様行っていきたい。



地域づくり協力隊を活用し地域 コミュニティの活性化を 梅木 隆志

【町長】年度途中という事でなかなか見つからなかったが、現在1名の履歴者が上がってきている。

【町長】年度途中という事でなかなか見つからなかったが、現在1名の履歴者が上がってきている。

【町長】年度途中という事でなかなか見つからなかったが、現在1名の履歴者が上がってきている。

【町長】年度途中という事でなかなか見つからなかったが、現在1名の履歴者が上がってきている。

【町長】年度途中という事でなかなか見つからなかったが、現在1名の履歴者が上がってきている。

【町長】年度途中という事でなかなか見つからなかったが、現在1名の履歴者が上がってきている。

※地域づくり協力隊とは？

地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事し、合わせて定住・定着を図り、地域の活性化に貢献。

総務省による財政支援(特別交付税)隊員一人当たり400万円上限(報酬等)上限200万円・活動費上限200万円

期間概ね1年以上最長3年



効果的・効率的な行政 運営 北里 勝義

【総務課長】総合評価方式については、提案型と併せて住民や利用者の満足度の保持や技術力の評価があると思う。小国町においても点検し、精査したい。

【町長】指名審査会のなかで、実績や工事の提案、地域貢献など総合的に指名している部分がある。工事の内容、種類によるが、プロポーザルの提案をいただくような工事については、検討したい。

【町長】指名審査会のなかで、実績や工事の提案、地域貢献など総合的に指名している部分がある。工事の内容、種類によるが、プロポーザルの提案をいただくような工事については、検討したい。

【町長】指名審査会のなかで、実績や工事の提案、地域貢献など総合的に指名している部分がある。工事の内容、種類によるが、プロポーザルの提案をいただくような工事については、検討したい。



小国町役場

【町長】町の職員であると同時に町民でもあり、地域貢献という角度から地域に参画することは必要と思っている。地域が元気になるために、町民と協力しあいながら地域を盛り上げていきたい。

国来年度からの介護保険第6期で要支援者向けのホームヘルプサービスとデイサービスが市町村事業に移管される。法律ではサービス提供者をボランティアでも良いとしているが、非専門職によるサービス提供になれば要支援者の症状悪化や孤立が進む事が懸念されないか。また、サービス内容や単価、利用者負担は現在の水準を維持出来るのか。

【福祉課長】訪問型サービスで考えれば、要支援者はある程度の身体的自立が出来ている。介護よりも日常生活支援という事になるので、必ずしも専門職にする必要は無い。それなりの福祉の気持ちを持った方、介護ホームヘルパーの資格を持っている方であれば十分対応出来ると思っている。通所型サービスでは、事業所を指定して町が委託するので、今まで通り専門職に協力頂ける。また、元気クラブなどへの参加を積極的に進める事で通所サービスに近いものが提供出来ると思う。



誰もが安心して長生き出来る小国に

児玉 智博

介護保険第6期の制度変更

予防給付の市町村事業化	訪問・通所介護を市町村事業に。サービス提供者はボランティアでもよい。
特養の重点化	特養の入所基準を知的・精神障害や認知症、虐待などによる「やむを得ない」場合を除いて要介護3以上とする。
補足給付の縮小	住民税非課税でも一定以上の資産があれば、特養入所やショートステイを利用した際の居住費・食費の補助の対象外とする。
利用料引き上げ	合計所得160万円（年金収入の場合280万円）以上の人の利用料負担を2割に。

要支援者は全て地域包括支援センターがケアプランを作成するので、本人や家族の意見を聞いて最適なサービスを提供出来るようにしたい。

制度が変わり、以前は要介護に認定されるような方も要支援に留まる場合があると聞く。また、要支援だから軽度という事でもないし、要支援の時にしっかりとしたサービスを受ける事で悪化を防ぐ事にもつながる。第6期介護事業計画作成段階でも認定者や家族などの意見をきちんと聞いていただきたい。

平成26年第3回臨時会

平成26年8月5日

▶ 工事請負契約 提案された契約案は可決しました。

- 議案第37号 小国町給食センター棟建築主体工事**
全会一致 指名競争入札により橋本建設（小国町）が4億3848万円で落札
- 議案第38号 小国町柔道場施設棟建築主体工事**
全会一致 指名競争入札により橋本建設（小国町）が5993万円で落札
- 議案第39号 小国町給食センター棟電気設備工事**
全会一致 指名競争入札により電盛社（熊本市）が6145万円で落札

- 議案第40号 小国町給食センター棟空調設備工事**
全会一致 指名競争入札により伊藤設備（小国町）が1億970万円で落札
- 議案第41号 小国町小中学校屋外プール建設工事**
全会一致 指名競争入札により伊藤組（小国町）が8186万円で落札

阿蘇市町村議会議員研修会

【平成26年10月10日】

山梨学院大学法学部の江藤俊昭氏による「住民自治の根幹としての議会」の作動と課題～議会改革とその条件整備～と題して講演が行われた。昨今の議員の不祥事や議員定数、報酬等の問題、議会改革や議員活動の明確化と様々な教えを受け、各議員は有意義な時間になったようだ。議会による監視能力と政策提言能力の向上のためには欠かせない講義であった。



わかりやすい議会



議案審議の流れ

議案審議は本会議のみで行う場合と委員会に付託して審議する場合があります。

本会議のみ
委員会付託

議案の上程

議案は町長から提出されるものと議員から提出されるものがあります。

議案の説明

提出者から議案の説明がなされます。

質疑・答弁

議案についての質問が行われ提出者が答弁を行う。

委員会付託

質疑が終わったら、更に詳細な審査が必要なものは議会の議決により委員会に付託できる。

質疑

委員会審査独立の原則。

討論

委員会は独立した見解で審査を行い、本会議からなんらの干渉や制約も受けない。

採決

委員長報告

付託された議案について、委員長が審査の経過及び結果について報告。

質疑

委員長報告についての質疑。

討論

議案についての賛成・反対の意見を述べる。

採決

議案について、出席議員の過半数によって賛成反対を決めます。

第17号P4に掲載した「室原智幸さん」→「室原知幸さん」でした。訂正してお詫びします。

表紙の写真

ふるさとの秋まつり2014

「梶原町よさこい踊り」 上野 雄輔 さん 宮原

発行責任者

高村 祝次

委員長

児玉 智博

副委員長

奴留湯 哲宣

委員

梅木 隆志

広報特別委員会

10月にはいり、非常に大きく強い台風18・19号が日本列島を縦断し、各地に多大な被害をもたらした。最近の台風の急激な発達とは地球温暖化によるものと言われている。さらに、ゲリラ豪雨や竜巻など地球温暖化による異常気象が続いている。小国町においても、本年はあまりひどくなかったが、地球温暖化による夏の異常高温は野菜を中心に小国町の農業に被害をもたらしている。Co²の排出ゼロ（カーボンゼロ）を目指し環境モデル都市の指定を受けた小国町にとって、具体的なCo²排出ゼロの取り組みをどのように勧めるのか、町の真価が問われるところだ。（梅木 隆志）

編集後記